

**ATT** アッテネーター  
入力信号を減衰させます。 Off, 10dB, 20dB, 30dBの中から選択します。

**FRONT-END** フロントエンド制御  
PreSel プリセレクター On/Off  
Preamp プリアンプ On/Off  
Dither ADC ディザ On/Off

**AMPLITUDE** 振幅調整  
スペクトラム表示における振幅と基準の設定を行います。

**FREQUENCY** 受信周波数設定  
周波数ペイン(窓)の数字の上にマウス・ポインタを置いてマウスのホイールを回すことで周波数が変更できます。周波数ペイン(窓)をダブルクリックすると周波数入力ウィンドウが出ますので、目的の周波数を入力します。

**Span / RBW** スパン / 分解能  
メイン・スペクトラム / ウォーター・フォールのウィンドウで表示される帯域幅(スパン)と相対する分解能(Resolution Band Width)を選択します。

**CF Step** CF ステップ設定  
メイン・スペクトラム / ウォーター・フォール・ウィンドウの周波数バーの下側の両端について白色の三角矢印ボタン(◀ ▶)で、あらかじめ選択したステップで受信周波数を上下できます。

**Wheel Step** ホイール・ステップ調整  
マウスのセンター・ホイールを回した時の周波数ステップを設定します。マウスのポインタをスペクトラム画面、あるいは周波数バーの上に置き、ホイールを回し周波数を変化させます。

**TUNING** 同調 と キャリブレーション  
Center ボタンは、チューニング・ダイヤルのポインタを常に周波数スケールの中央に固定します。 Cal / CalClr ボタンは周波数キャリブレーション時に使用します。

**SAMPLING RATE** サンプリング・レートの選択  
サンプリング・レートの切り替えで受信バンド幅が選択されます。この値は同様にPCへ記録する時のファイル・サイズを決定します。

**INPUT SELECT** 入力選択  
ペルセウス本体を使用するか記録されたファイルを使用するかを選択します。  
Perseus 受信機へ接続されます  
Wav 記録時に選択します  
File PCに記録されたファイルを選択します

**PLAYBACK / REC** 再生/記録ボタン  
これらのボタン操作はDVDプレーヤーやビデオレコーダと同じです。

**AM / SAM / CW / RTTY / USB / USB / FM / DRM / USER**  
受信モード選択ボタン  
受信モードを選択します。

**DRM** (デジタル短波放送 - Digital Radio Mondiale)  
受信には著作権の関係で、ご使用になられる方ご自身で、フリーソフトや専用のソフトをインストールする必要があります。

**Spect / WFall / Zoom / Palette / Labels / NBW / NBN / Afc**  
メイン・スペクトラム / ウォーター・フォールの切り替え、ウォーター・フォール色の組み合わせ変更ノイズブランカー選択などのボタンです。

Labels ON でラベルが表示されます

マーカー : 周波数とレベルを表示します。

**AMPLITUDE**  
振幅調整  
スペクトラム表示における表示基準の設定を行います。

**ウォーター・フォール制御バー**  
速度 / 輝度 / コントラスト調整用スライドバーです。

**AMPLITUDE**  
振幅調整  
スペクトラム表示における表示基準の設定を行います。

**Time / Mix / Freq.**  
FFT解像度ボタン  
スペクトラム表示で、リフレッシュ・レートを下げる代わりにシャープネスの向上を選択できます。

**AF**  
ボリュームとミュート(AF Vol)  
ノイズ・リダクション(AF NR)の制御に使用します。

**S-MTR**  
受信信号の強度をRMS(実行値)で表示するかPeak(尖頭値)で表示するかを切り替えます。

**Bank**  
ユーザ設定のメモリーバンクを選択します。バンク1 (B1) ~ バンク(B6)の6バンク構成です。

各バンクに100の周波数/モードの登録ができます。合計で600チャンネルです。

**BW**  
バンド幅選択ボタンです。目的のモードにあわせて最適なバンド幅(通過帯域幅)を選択します。

**AVG**  
スペクトラム / ウォーター・フォールウィンドウのスペクトラム波形の平滑化を行います。メインとセカンダリウィンドウのそれぞれで実行可能です。

**MKR**  
マーカー表示の消去、マーカー表示を差分値で表示するためのボタンです。

**HFCC / EBI / User / ALL**  
MEM(メモリー・ウィンドウ)に表示される周波数データベースを選択するボタンです。

**AGC**  
AGCの時定数切り換え用のボタンです。AGCコントロールバー内の【Fast】【Med】【Slow】の3つのボタンで、時定数を選択できます。【Off】ボタンで、AGCを停止できます。

【SpkRej】はAGCのスパイク除去ボタンです。この機能は、比較的長い時定数の古いアナログ受信機のAGCの動作をエミュレートします。

**PBT / Notch / Anotch / CWPeak**  
PBT パスバンド・チューニング  
Notch ノッチフィルター  
Anotch 自動のノッチ  
CWPeak CWピーク・フィルタ

**NB Level**  
ノイズ・ブランカはパルス性ノイズを抑制します。スライド・バーはノイズ・ブランカ(NB)の閾値を調整します。

◀ ▶ にて Wheel Step で設定したステップで周波数の変化ができます。



ハード・ディスクへの記録

(1) SAMPLING RATE (Ks/S)

SAMPLING RATE (サンプリング・レート)を選択します。  
それぞれのサンプリング・レートと大まかな記録時間は以下の表の通りです。

サンプリング レート (kS/s)	記録/再生 バンド幅 (kHz)	ファイル サイズ	1ファイルの記 録時間	100GB のハード・ディスク へ記録した場合の 最大記録時間
125	100	439MB	10分	約37.9時間
250	200	878MB	10分	約18.9時間
500	400	1.757GB	10分	約9.5時間
1000	800	3.6GB	10分	約4.6時間
2000	1600	2.3GB	5分	約3.6時間

記録時間は記録の単位で、自動生成されるファイルにより記録される時間です。  
この記録単にごとにハードディスクの容量の範囲でファイルが自動生成されます。

(2) PLAYBACK/REC

記録を開始するには録音ボタン【●】をクリックします。  
PC上に"ファイル保存(名前をつけて保存)"ウインドウが出ますので、  
記録ファイルの"ファイル名"と"保存場所"を指定します。  
記録中 INPUT SELECTは【Wav】となります。

記録を終了するには停止ボタン【■】をクリックします。

ハード・ディスクからの再生

(3) INPUT SELECT

記録されたデータを再生するには入力選択(INPUT SELECT) から  
【Files】をクリックします。

PC上に"ファイルを開く"ウインドウが出ますので、再生したいファイルを選択し  
"開く" ボタンをクリックします。

再生ボタンをクリックし再生を開始します。

PERSEUS 受信機がUSBに取り付けられていない場合の再生も可能です。

再生中の"早送り"と巻き戻し



【停止】 【再生】 【録音】

ドラッグした部分のバーの色が黄色から淡い黄色へ変化します。

処理中のバーの任意の位置をクリックすることで、再生位置を選択できます。

狭い選択期間をループさせる(聞き返すため)には、処理中バーの区間を  
左ボタンを押したまま選択したい範囲をドラッグします。

(1) SAMPLING RATE (Ks/S)

(2) PLAYBACK/REC

(3) INPUT SELECT



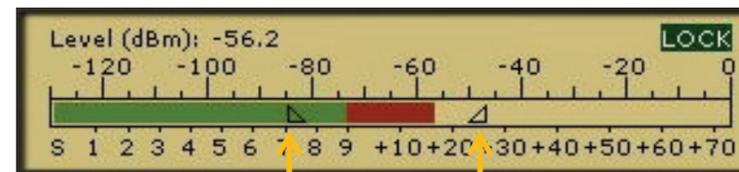
記録/再生 状態表示

Sメータ

スケルチ 及び ミュート操作

※ 取扱説明書にはこの操作の説明は含まれていません。

スケルチと自動ミュートのレベルは、マウスの左ボタンでS-メーター・バー  
上で希望する値をクリックして設定できます。



S-メーター

スケルチ

ミュート

自動ミュートの機能は、スケルチとは反対の方法で動作します。  
RF 入力レベルが適切なしきい値より大きいときに、オーディオの音を  
止めます。そして、送信機 あるいはトランシーバーが(適切なアンテナ  
を回路で切替えて)送信するとき、自動的に受信機の音を止めるために  
使うことができます。

スケルチ・レベルは、S - メーターのバーの S1 - S9 の範囲でクリック  
して設定します。S - メーターのバーの中にある左辺が垂直の  
三角形が設定されたスケルチのしきい値を示します。

自動ミュートは、S - メーターのバーの S9 - S9+70 の範囲で、  
S - メーターのバーをクリックして設定します。右辺が垂直の  
三角形が設定された自動ミュートのしきい値を示します。

スケルチと自動ミュート機能を止めるには、S - メーターの対  
応する範囲を右クリックしてください。

スケルチと自動ミュート機能のヒステリシスは、およそ6デシベルです。  
設定されたしきい値はピーク値です。